

5 - 6 1985年9月13日駿河湾中部の地震

The Earthquake in Central Suruga Bay, September 13, 1985

国立防災科学技術センター

National Research Center for Disaster Prevention

1985年9月13日07時58分に駿河湾中部にM3.9(気象庁)の地震が発生した。防災センターで決定した震源要素は、

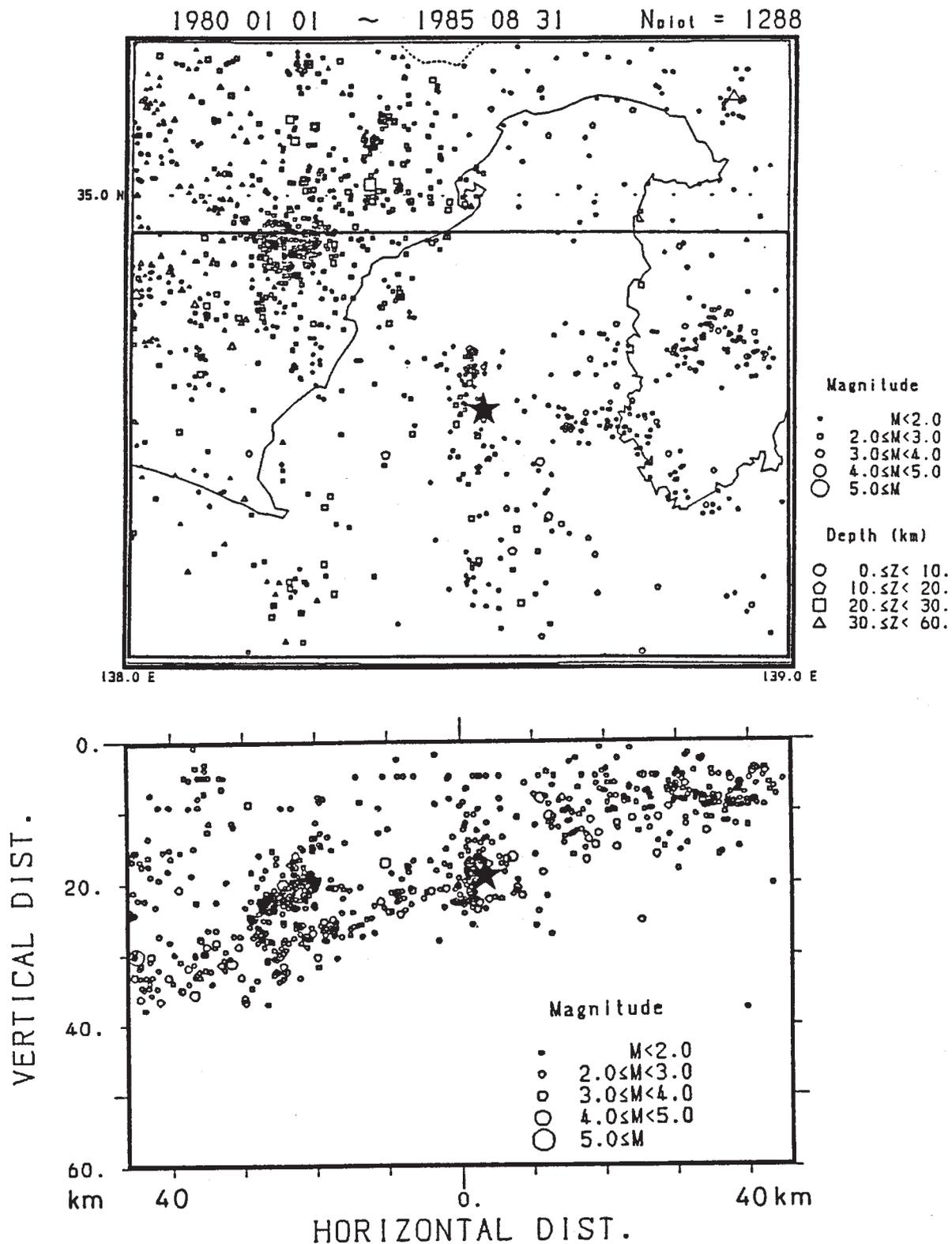
震源時：07時58分11.5秒

震源：34.730° N, 138.538° E, 深さ18.7km

で、 $M_w=4.0$ である。第1図は震源位置を防災センターによる約6年間の震源分布図上に示したものである。駿河湾中部のトラフ軸のやや西側で発生したが、この付近は地震活動が活発な場所であることがわかる。第2図は駿河湾周辺の地震活動の約6年間の時空間分布図である。駿河湾中部では、1983年4月8日にM3.9の地震が発生し、このときは3月から6月にかけて駿河トラフ沿いに地震活動の活発化が見られた。今回の地震については、そのような地震活動の活発化は見られない。この地震の特徴として余震の少ないことがある。震源の決められた余震は、9月13日と15日に発生したM1.4の2個の地震のみである。

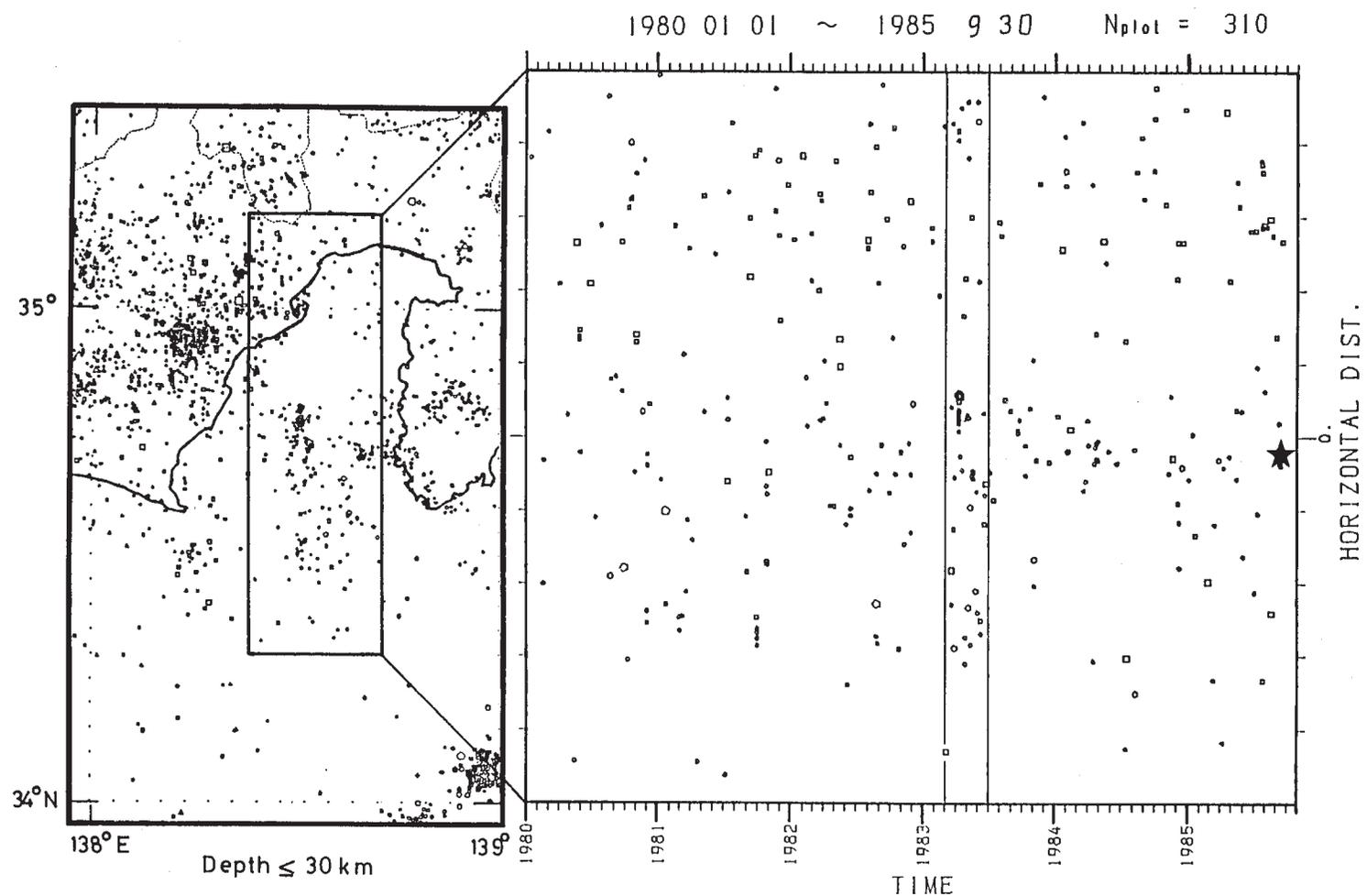
第3図に今回の地震の発震機構解と駿河湾内の地震の発震機構解の代表例、および発震機構を決定することができた地震の圧縮軸の水平面投影を示す。今回の地震は、ほぼ南北の圧縮軸をもつ逆断層型地震である。第3図からわかるように、殆どの地震は横ずれ断層型あるいは逆断層型であり、その圧縮軸の方位はNNW - SSEからNE - SWの範囲である。

(鵜川 元雄)



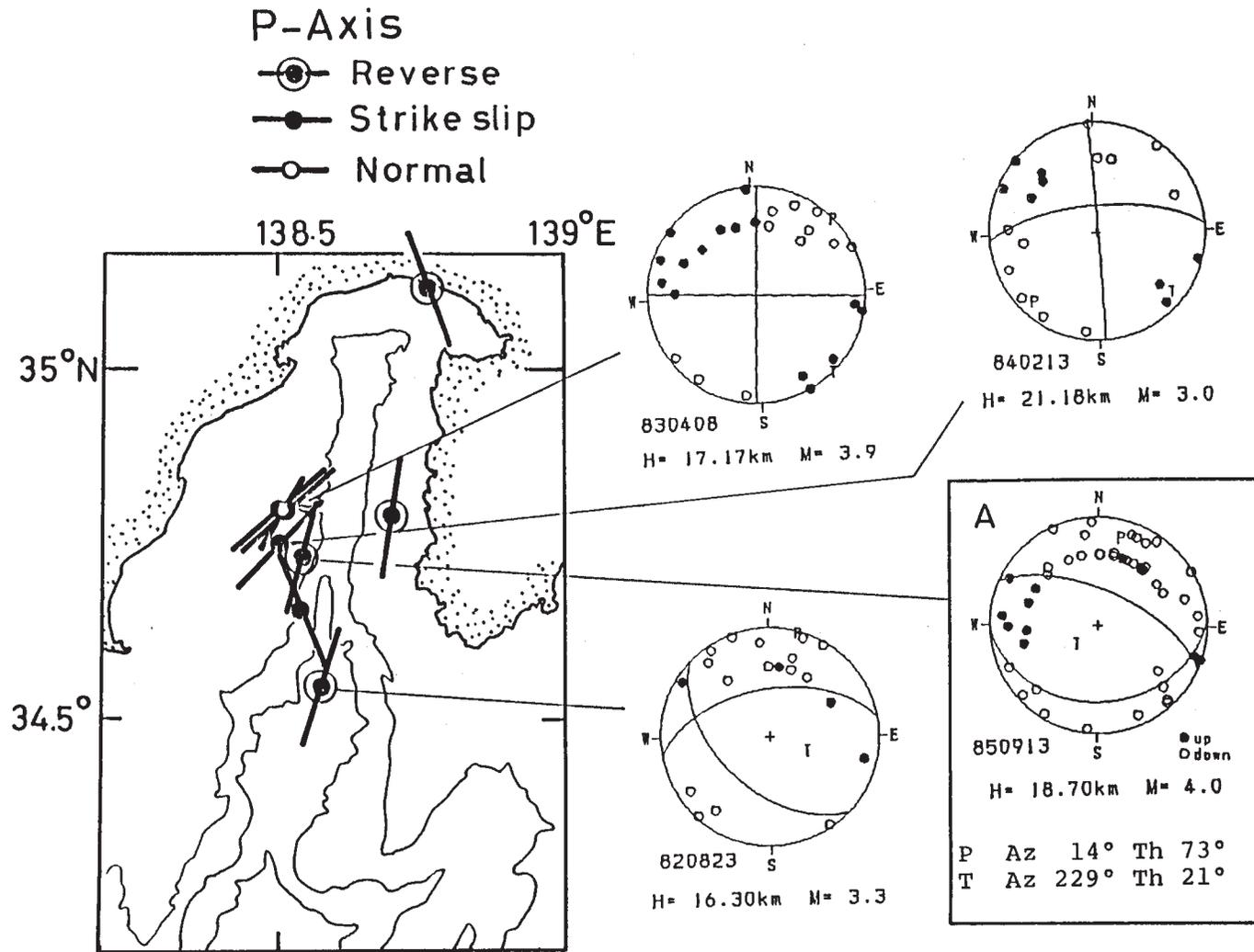
第1図 1985年9月13日の地震の震源位置(星印)と防災センターによる1980年1月から1985年8月までの60kmより浅い地震の震源分布図。東西断面図(下図)は震央分布図(上図)上でわくで囲んだ領域の地震を投影。

Fig. 1 Hypocenter of the earthquake, September 13, 1985 (asterisk) and hypocenter distribution of the earthquakes shallower than 60 km in the period from January, 1980 to August, 1985 determined by NRCDP. The earthquakes surrounded by the rectangle on the epicenter map (upper) are plotted on the E-W cross section (bottom).



第2図 駿河トラフ軸周辺の地震の時空間分布。1980年1月から1985年9月までの防災センターのデータによる。震央分布図上でわくで囲んだ範囲の地震を対象とした。

Fig. 2 Space-time plots of the earthquakes around the Suruga trough axis. We use the data obtained by NRCDP in the period from January, 1980 to September, 1985. The earthquakes surrounded by the rectangle on the epicenter map are plotted on the space-time plots.



第3図 1985年9月13日の地震の発震機構解 (A) と駿河湾内の地震の発震機構解の代表例、および発震機構を決定することができた地震のP軸の水平面投影。

Fig. 3 Focal mechanism of the earthquake, September 13, 1985 (A), some typical examples of the focal mechanisms of the earthquakes in Suruga bay and horizontal projections of P axes of the earthquakes whose focal mechanisms were able to determined.